東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2006年1月13日

イスラームと変化

　親愛なるムスリムの皆様。アッラーのお言葉であるクルアーンは、その存在と指導を、この世界が続く限り続け、時代を超越し、常に新しさと美しさを保ち、人々を後退させるのではなく常に前進させ、科学的、技術的発展に対して矛盾するところを持たない、一つの書物です。この書物が人々にもたらす忠告、規則、定め、そして推奨、ハラールとハラーム、命令と禁止事項、例え話、寓話、それからそれが伝える真実は、時の経過によって変わることも、古くなることも、価値を失うこともありません。崇高なるアッラーは、この点についてクルアーンで次のように仰せられておられます。「あなたの主の言葉は、真実公正に完成された。誰もかれの言葉を変えることは出来ない。かれは全聴にして全知であられる。」（家畜章第１１５節）

　ムスリムの皆様。知識、未来と過去を包括し、アッラーのみ言葉であるクルアーンが変わらず、また普遍的であること、時代を超越し人々をいつでも最も正しいものへと導く書であることを、私たちは完全に信じています。クルアーンの章句は変化しません。ただ、人々が知識や文化、技術と言う面で発達するに従って、クルアーンの理解や実生活での実現において、変化が見られることがあるのです。クルアーンの意図するところは変わりません。ただ、その手段が変わることはあります。例えば、クルアーンで「清潔さ」が命じられています。これは一つの規則であり、この規則は変化しません。しかし、清潔さを保つ手段は、　　　　常に発展し、変わっていきます。人が、覆うべきところを覆う、というのは義務であり、この義務は変わりません。ただ、覆う際の衣服の布、形状などが変化しうるのです。クルアーンでは、「かれらに対して、あなたの出来る限りの（武）力と、多くの繋いだ馬を備えなさい。」（戦利品章第６０節）と言われています。ここで言及されている「馬」は、一つの手段です。私たちの時代においては、馬の代わりに原動機があります。このように、この手段は、常に発展して変化しうるのです。

　親愛なるムスリムの皆様。これらの例は、さらに拡大することが可能です。ここで述べたい真実は、章句やハディースが変化しないものである、ということです。ただし、目標へと到達させる手段とともに、章句やハディースで詳しく言及されておらず、クルアーンの解釈や学者の見解を基にした法は、変化することがありえます。

　イスラームの全ての命令、禁止事項は、人々の幸福のためにあります。この世で、そしてあの世で幸福であるために、イスラームをよく学び、正しく理解し、命令や禁止事項にきちんと従わなければなりません。今日のフトバを、預言者ムハンマド（彼の上に平安あれ）の次のハディースで締めくくりたいと思います。

　「（人々よ）あなた方に、もししっかりと結びつき、従った場合、決してあなた方が道の迷うことがないであろう二つのものを、私は残す。アッラーの書物と、あなた方の預言者のスンナである。」